

セゾン・バンガード・ グローバルバランスファンド



運用報告書(全体版)

第8期(決算日 2014年12月10日)

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/内外/資産複合
信託期間	無期限
運用方針	信託財産の長期的な成長を図ることを目的として、主として米国バンガード社が運用する株式と債券のそれぞれのインデックスファンドの中から資産規模、運用実績、コストなどの面から厳選したファンドに分散投資します。具体的な資産配分は運用状況ならびに市場状況に応じて随時変更(増減ならびに入替など)します。原則として、為替ヘッジは行いません。
主要運用対象	有価証券に投資する外国投資証券を投資対象とします。
組入制限	①外貨建資産への投資には制限を設けません。 ②投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ③投資信託証券ならびに短期金融資産以外の有価証券への直接投資は行いません。 ④デリバティブの直接利用は行いません。
分配方針	毎決算時に、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行います。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。 信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づき運用を行います。当ファンドは、分配金再投資専用とします。収益分配金は、税金を差し引いた後、再投資されます。

受益者の皆さまへ

平素は「セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド」に格別のご愛顧を賜り、厚く御礼を申し上げます。

当ファンドは2014年12月10日に第8期決算を行ないましたので、当期の運用状況をまとめております。

当期間も信託財産の長期的な成長を図ることを目的とした運用を行って参りましたこと、合わせてご報告申し上げます。

今後も、皆さまの長期投資の充実のため、引き続き努めて参りますので、より一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。



セゾン投信

■お問合せ先

セゾン投信株式会社
〒170-6037 東京都豊島区東池袋3-1-1 サンシャイン60 37F
[ホームページ] <http://www.saison-am.co.jp>
[電話番号] 03-3988-8668
[営業時間] 9:00~17:00(土日祝日、年末年始を除く)

ごあいさつ

「セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド」は、2007年3月に6億円あまりの残高で長期投資の旅に出発いたしました。早いもので8年目の決算を迎え、純資産残高は900億円を突破して順調に育っております。

当ファンドのコンセプトは、地球経済の安定成長軌道に自然体で乗りながら、世界の成長から得られるリターンでゆったりのんびりとお金を育てて行くものです。

そして実体経済を司る二大資産クラスである株式と債券で支え合うグローバルバランス型としては、当期も前期に続いて本来の巡行速度を上回るパフォーマンスを実現することが出来ました。

世界経済はリーマンショックから6年が経過し、金融危機後に地球経済を牽引したBRICS新興大国による成長エンジンが息切れして踊り場を迎える一方、同時期需要不足に苦しんで来た先進国経済が大きく息を吹き返して成長の源泉が移転するカタチで、地球全体は相変わらず想定範囲内の安定した成長軌道を堅持しています。

とりわけこの1年の成長の主役は米国経済で、6年間に亘る壮大なスケールでの量的金融緩和(QE)が、企業業績の安定した利益伸長をもたらし、それに裏打ちされた株式市場も素直に反応する中で、はっきりと新たな需要を生み出して、回復への足取りを確固なものとしています。

期中では足腰が定まって来た米国のQE終了への金融政策転換を市場が織り込む過程で、リスクオン・リスクオフを繰り返す動揺がありましたが、日銀の追加量的緩和のメッセージがグローバルに影響を發揮して、金融市場は楽観のトレンドで当ファンドの決算を迎えることが出来ました。

日本経済は、アベノミクスというアクセルと消費増税というブレーキが交錯して、足取りが覚束なくなっています。同様に欧州経済は、金融政策が後手に回ってデフレ寸前の状況に苦しんでいますが、2015年は米国主導のより力強い経済成長軌道を、日欧の金融緩和政策が下支えしながら、地球経済の風向きは追い風を受けて、当ファンドは自然体で進んで参ります。

引き続き「セゾン号」乗客の皆さまには、長期投資の果実を着実に育てていただいていることに、乗務員一同感謝申し上げますと共に、第8期の運用状況を報告させていただきます。

代表取締役社長 中野 晴啓

本書では、各投資対象ファンドを以下の通りに省略して記載することがありますのでご了承ください。

バンガード®・U.S.500ストック・インデックス・ファンド	→ U.S.500ストック及びU.S.500ストック・インデックス・ファンド
バンガード・ヨーロピアン・ストック・インデックス・ファンド	→ ヨーロピアン・ストック及びヨーロピアン・ストック・インデックス・ファンド
バンガード・ジャパン・ストック・インデックス・ファンド	→ ジャパン・ストック及びジャパン・ストック・インデックス・ファンド
バンガード・パシフィック・エクスジャパン・ストック・インデックス・ファンド	→ パシフィック・エクスジャパン・ファンド及びパシフィック・エクスジャパン・ストック・ファンド
バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド	→ エマージング・マーケット・ストック及びエマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド
バンガード・U.S.・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	→ U.S.・ガバメント・ボンド及びU.S.・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド
バンガード・ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	→ ユーロ・ガバメント・ボンド及びユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド
バンガード・ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	→ ジャパン・ガバメント・ボンド及びジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			(参考指数)	合成指数	為替レート		投資対象ファンド組入比率									純資産総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率			期中 騰落率	米ドル /円	ユーロ /円	投資証券 組入比率	U.S.500 ストック	ヨーロッパ ストック	ジャパン ストック	ボフィック・ エクスジャル ファンド	イマーシング・ マーケット・ ストック	U.S. ガバメント・ ボンド	ユーロ・ ガバメント・ ボンド	
第4期 (2010年12月10日)	円	円	%		%			%	%	%	%	%	%	%	%	%	百万円
	7,753	-	△1.0	8,615	1.3	83.82	110.92	99.0	22.5	13.6	4.6	2.7	7.2	19.8	18.1	10.5	32,583
第5期 (2011年12月12日)	7,226	-	△6.8	8,172	△5.1	77.68	103.77	99.1	23.0	13.0	4.4	2.7	6.8	19.6	18.9	10.7	37,748
第6期 (2012年12月10日)	8,309	-	15.0	9,438	15.5	82.55	106.56	99.8	24.4	12.7	3.8	2.7	6.7	20.7	17.9	10.8	50,743
第7期 (2013年12月10日)	11,347	-	36.6	12,744	35.0	103.35	141.96	99.5	25.0	12.8	4.0	2.4	5.8	21.0	19.4	9.0	68,517
第8期 (2014年12月10日)	13,561	-	19.5	15,194	19.2	119.46	147.89	99.4	26.7	11.8	3.9	2.3	5.5	21.7	19.4	8.1	90,887

(注1) 基準価額は1万口あたりです。

(注2) 当ファンドにはベンチマークがないため、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数のMSCIオールカントリー・ワールド・インデックス(配当込)とバークレイズ・グローバル国債：G7インデックスを50%ずつ組合せた、委託会社が計算した合成指数を参考指数として記載しております。参考指数は、設定日(2007年3月15日)の値を10,000として委託会社が計算したものです。

(注3) 参考指数は、基準価額への反映を考慮して、2営業日前のものに、当日のわが国の対顧客電信売買仲値を利用して円換算しております。

(注4) 組入比率は、対純資産比です。騰落率、組入比率は、小数点第2位を四捨五入しています。

(注5) 為替レート(米ドル/円)(ユーロ/円)は、わが国の対顧客電信売買仲値を利用してしています。

当期中の基準価額等の推移

年月日	基準価額		(参考指数)	合成指数	期中 騰落率	投資対象ファンド組入比率										
	騰落率	期中 騰落率				投資証券 組入比率	U.S.500 ストック	ヨーロッパ ストック	ジャパン ストック	ボフィック・ エクスジャル ファンド	イマーシング・ マーケット・ ストック	U.S. ガバメント・ ボンド	ユーロ・ ガバメント・ ボンド	ジャパン・ ガバメント・ ボンド		
(期首)	円	%		%		%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
2013年12月10日	11,347	-	12,744	0	99.5	25.0	12.8	4.0	2.4	5.8	21.0	19.4	9.0			
12月末	11,640	2.6	13,065	2.5	98.5	25.2	12.9	4.1	2.4	5.6	20.7	19.2	8.5			
2014年1月10日	11,240	△0.9	12,686	△0.5	98.9	24.3	12.5	4.0	2.3	5.4	21.3	20.1	8.9			
2月末	11,420	0.6	12,848	0.8	98.9	24.9	12.9	4.1	2.3	5.3	20.9	19.8	8.7			
3月末	11,527	1.6	12,987	1.9	99.2	25.0	13.0	3.9	2.3	5.4	21.0	19.9	8.6			
4月末	11,598	2.2	13,073	2.6	98.9	25.1	13.0	3.7	2.3	5.4	20.6	20.1	8.6			
5月末	11,677	2.9	13,175	3.4	99.0	25.4	12.9	3.8	2.3	5.5	20.6	19.9	8.5			
6月末	11,773	3.8	13,293	4.3	99.1	25.5	12.6	3.9	2.3	5.5	20.5	20.2	8.7			
7月末	11,947	5.3	13,548	6.3	99.0	25.3	12.5	3.9	2.4	5.7	20.6	20.1	8.5			
8月末	12,094	6.6	13,698	7.5	99.2	25.5	12.5	3.8	2.4	5.8	20.7	19.8	8.5			
9月末	12,415	7.0	14,039	10.2	99.0	25.7	12.2	3.9	2.3	5.6	21.2	19.5	8.6			
10月末	12,318	8.6	14,006	9.9	98.9	26.1	11.9	3.7	2.4	5.7	21.2	19.3	8.6			
11月末	13,487	18.9	15,247	19.6	99.3	26.8	12.2	3.8	2.3	5.7	21.5	19.1	7.9			
(期末)	円	%		%		%	%	%	%	%	%	%	%			
2014年12月10日	13,561	19.5	15,194	19.2	99.4	26.7	11.8	3.9	2.3	5.5	21.7	19.4	8.1			

(注) 騰落率は期首比です。

当期の運用状況と今後の運用方針

期中の基準価額等の推移

当ファンドの第8期(2013年12月11日~2014年12月10日)の年次運用状況をご報告いたします。

当期の基準価額の推移は、2014年2月6日に11,027円の最安値を、2014年12月8日に13,748円の最高値を付け、当期末の基準価額は13,561円となりました。設定から当期末までの基準価額の騰落率は+35.61%、当期の騰落率は+19.51%となりました。



【基準価額のハイライト】

	基準価額	日付
安値	11,027円	2014年2月6日
高値	13,748円	2014年12月8日

【基準価額の主な変動要因】

当期は、株式市場が米国を中心に上昇し、債券市場も軒並み上昇したことで、投資先ファンドが基準価額の上昇要因となりました。また、為替も対ドルで大幅な円安、対ユーロでも円安となり基準価額の上昇要因となりました。

<基準価額のプラス要因>

- ・対ドルでの為替レート(円安)
- ・U.S.500・ストック・インデックス・ファンド(米ドル)
- ・ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド(ユーロ)
- ・ヨーロッパ・ストック・インデックス・ファンド(ユーロ)
- ・対ユーロでの為替レート(円安)
- ・U.S.・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド(米ドル)

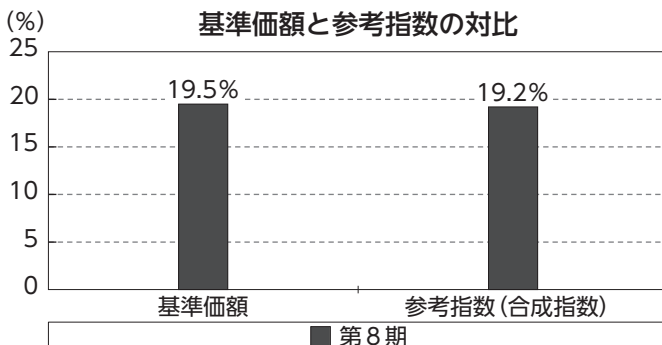
- ・ジャパン・ストック・インデックス・ファンド(円)
- ・ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド(円)
- ・パシフィック・エクスジャパン・ストック・インデックス・ファンド(米ドル)

<基準価額のマイナス要因>

- ・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド(米ドル)

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注1)当ファンドにはベンチマークがないため、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数のMSCIオールカンントリー・ワールド・インデックス(配当込)とパークレイズ・グローバル国債：G7インデックスを50%ずつ組合せた、委託会社が計算した合成指数を参考指数として記載しております。

(注2)参考指数は、基準価額への反映を考慮して、2営業日前のものに、当日のわが国の対顧客電信売買仲値を利用して円換算しております。

当ファンドの運用経過と結果

当期も引き続き、積立やスポット購入により受益者の皆様からお預かりした資金を利用して、定められた投資比率に従い各ファンドへの投資を行いました。また、証券税制の軽減税率廃止等の影響により、受益者の皆様からのご解約が増加した局面においては、定められた比率に従いファンドの解約を行ったほか、株式と債券の比率が乖離した局面では、比率の高まったファンドを売却し、比率の低下したファンドを購入することによりリバランスを行いました。

当期は、株式市場と債券市場が共に上昇するなかで、株式市場の上昇率が相対的に高めとなる局面が多かった為、債券ファンドへの投資を継続的に実施し、株式市場の調整局面を中心に株式ファンドへの投資を行いました。

投資環境

【世界の株式市場の概況】

株式市場は先進国を中心に上昇しました。

米国経済は緩やかながら回復基調となったものの、ユーロ圏や日本では景気の先行きに対する明るい見方が拡がらない中で、新興国経済の成長鈍化への懸念が高まったほか、ウクライナ情勢の緊迫化など地政学的リスクも高まったことを受けて、軟調に推移する局面もありましたが、世界的な景気の低迷を背景にインフレ観測が後退し、低金利が長期間継続するとの見方が強まったことから、株式市場は先進国を中心に上昇基調となりました。

米国の株式市場は、経済が緩やかな回復を示し、金融緩和の拡大策が終了に向かう中で利上げが意識され、軟調に推移する局面もあったものの、原油価格の低下などにより物価が落ち着いていることからインフレ観測が後退して、低金利が長期間継続するとの見方が強まり、上昇基調となりました。

欧州では、英国経済が緩やかな回復を示しているものの、ウクライナを巡るロシアとの関係悪化の影響もあり、ユーロ圏では景気の牽引役を期待されていたドイツの景気が失速し、景気の長期低迷への懸念が高まりました。しかし、欧州中央銀行(ECB)の金融緩和姿勢が下支えとなり、株式市場は上昇しました。

日本では、円安による輸出の拡大効果が限定的となった一方で、消費税率の引き上げによる個人消費の落ち込みが想定以上のものとなったことから、景気の先行きに対する懸念が広がったものの、10月末に日本銀行が金融緩和の拡大策を打ち出したことを受けて為替市場で大幅な円安となり、株式市場は大きく上昇しました。

アジア・太平洋地域の株式市場は、中国経済の先行きに対する懸念が高まる中で、オーストラリアの主要な輸出品である資源価格が低迷したことから、力強さを欠く展開となりました。

新興国の株式市場は、米国で金融緩和の拡大策が終了に向かい新興国の株式市場からの資金引き揚げに対する警戒が高まる中で、先進国経済の低迷に伴って新興国経済の成長鈍化に対する懸念が高まり、資源価格も低迷したことから、力強さを欠く展開となりました。

【国債市場の概況】

国債市場は、米国で金融緩和の拡大策が終了に向かう中で利上げが意識され軟調に推移する局面もあったものの、景気の先行きに対する慎重な見方が広がるなかで、ユーロ圏や日本で金融緩和が拡大したほか、原油価格の低下などを背景に物価上昇観測が後退して、米国を含む先進国で低金利が長期間継続するとの見方が強まって、上昇しました。

米国債は、金融緩和の拡大策が縮小に向かい、利上げの開始時期が市場の関心を集める中で、軟調な展開となる局面もあったものの、ユーロ圏や日本の金融緩和拡大による金利低下を受けて相対的に金利が高い米国債の魅力が高まったほか、経済が緩やかな回復を示す中でも、物価上昇圧力が高まらずインフレ観測が後退したことから、堅調な展開となりました。

ユーロ圏では、景気の長期低迷懸念とデフレ懸念が広がる中で、金融緩和拡大への期待が高まって、ドイツやフランスなどの主要国とイタリアやスペインなどの周縁国の国債が共に上昇基調となり、特に周縁国の国債は、欧州中央銀行(ECB)が大量の国債の買入れを行うとの期待が高まったことから安心感が広がって、大きく上昇しました。

日本国債は、景気の先行きに対する不透明感が高まり、物価の上昇が抑制されるなかで、上昇基調となり、10月末に日本銀行が国債の買入れ額を増大させる追加の金融緩和策を打ち出したことを受けて一段と上昇しました。

【為替市場の概況】

為替市場では、ユーロ圏や日本で金融緩和が拡大に向かい、新興国経済の先行きにも懸念が広がる一方で、米国経済が緩やかながら回復基調となり、金融緩和の拡大策が終了に向かうと共に、利上げが意識されたことから、ドルが主要通貨に対して大きく上昇しました。

ユーロは、景気の長期低迷懸念が広がる中で、デフレ懸念が高まったものの、欧州中央銀行(ECB)による金融緩和の拡大策が打ち出され、今後も更なる金融緩和の拡大が期待されたことから、下落基調となりました。また、資源価格が大きく低下したことを受けて、オーストラリアドルやブラジルレアルなどの資源国通貨も下落しました。

円は、途中まで追加の金融緩和への期待が後退して底堅い展開となったものの、10月末に日本銀行が予想外に追加の金融緩和策を打ち出したことを受けて大きく下落し、対ドルで大幅な円安となり、対ユーロでも円安となりました。

組入ファンドと為替レートの動き

バンガード・U.S.500ストック・インデックス・ファンド(米ドル建て)

バンガード・U.S.500ストック・インデックス・ファンドの当期の基準価額の騰落率*は、+15.54%でした。

*当ファンドの基準価額の算定は投資先バンガードファンドの前々営業日の評価額を基に行う仕組みとなっておりますので、投資先バンガードファンドの騰落率は当ファンドの計算期間での2営業日前のものを利用しています。



バンガード・ヨーロッパン・ストック・インデックス・ファンド(ユーロ建て)

バンガード・ヨーロッパン・ストック・インデックス・ファンドの当期の基準価額の騰落率*は、+12.67%でした。

*当ファンドの基準価額の算定は投資先バンガードファンドの前々営業日の評価額を基に行う仕組みとなっておりますので、投資先バンガードファンドの騰落率は当ファンドの計算期間での2営業日前のものを利用しています。



バンガード・ジャパン・ストック・インデックス・ファンド(円建て)

バンガード・ジャパン・ストック・インデックス・ファンドの当期の基準価額の騰落率*は、+18.76%でした。

*当ファンドの基準価額の算定は投資先バンガードファンドの前々営業日の評価額を基に行う仕組みとなっておりますので、投資先バンガードファンドの騰落率は当ファンドの計算期間での2営業日前のものを利用しています。



バンガード・パシフィック・エクスジャパン・ストック・インデックス・ファンド(米ドル建て)

バンガード・パシフィック・エクスジャパン・ストック・インデックス・ファンドの当期の基準価額の騰落率*は、+0.93%でした。

*当ファンドの基準価額の算定は投資先バンガードファンドの前々営業日の評価額を基に行う仕組みとなっておりますので、投資先バンガードファンドの騰落率は当ファンドの計算期間での2営業日前のものを利用しています。



バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド(米ドル建て)

バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンドの当期の基準価額の騰落率*は、-0.50%でした。

*当ファンドの基準価額の算定は投資先バンガードファンドの前々営業日の評価額を基に行う仕組みとなっておりますので、投資先バンガードファンドの騰落率は当ファンドの計算期間での2営業日前のものを利用しています。



バンガード・U.S.・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド(米ドル建て)

バンガード・U.S.・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンドの当期の基準価額の騰落率*は、+3.68%でした。

*当ファンドの基準価額の算定は投資先バンガードファンドの前々営業日の評価額を基に行う仕組みとなっておりますので、投資先バンガードファンドの騰落率は当ファンドの計算期間での2営業日前のものを利用しています。



バンガード・ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド(ユーロ建て)

バンガード・ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンドの当期の基準価額の騰落率*は、+11.17%でした。

*当ファンドの基準価額の算定は投資先バンガードファンドの前々営業日の評価額を基に行う仕組みとなっておりますので、投資先バンガードファンドの騰落率は当ファンドの計算期間での2営業日前のものを利用しています。



バンガード・ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド(円建て)

バンガード・ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンドの当期の基準価額の騰落率*は、+2.84%でした。

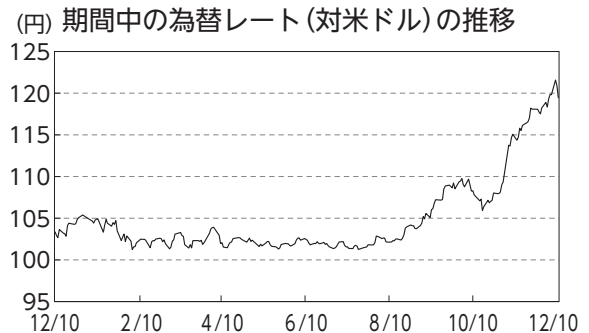
*当ファンドの基準価額の算定は投資先バンガードファンドの前々営業日の評価額を基に行う仕組みとなっておりますので、投資先バンガードファンドの騰落率は当ファンドの計算期間での2営業日前のものを利用しています。



為替レートの推移(対米ドル)

当期の対米ドルの為替レートは、15.59%の円安(ファンドの基準価額にはプラスの影響)*でした。

*当ファンドの基準価額の算定は、当日の投資信託協会発表の評価用為替レートを使用して行う仕組みとなっておりますので為替レートの変化率は、当ファンドの計算期間の投資信託協会発表の評価用為替レートを利用しています。

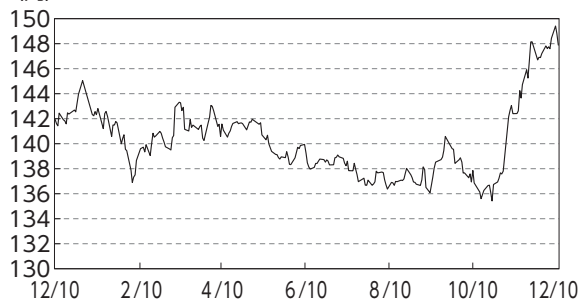


為替レートの推移(対ユーロ)

当期の対ユーロの為替レートは、4.18%の円安(ファンドの基準価額にはプラスの影響)*でした。

*当ファンドの基準価額の算定は、当日の投資信託協会発表の評価用為替レートを使用して行う仕組みとなっておりますので為替レートの変化率は、当ファンドの計算期間の投資信託協会発表の評価用為替レートを利用しています。

(円) 期間中の為替レート(対ユーロ)の推移



今後の運用方針

定められた投資比率に従い各ファンドへの投資を行います。原則として新規の流入資金を利用して、定められた投資比率に沿うように分散投資を行い、目標とする比率から一定の乖離が生じた場合は比率の調整を行います。

運用部 瀬下 哲雄

分配金

基準価額の水準、並びに市場環境等を考慮し、当期の分配については見送りとさせていただきます。なお、留保金につきましては、元本部分と同様の運用を行って参ります。

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項 目	第8期
	2013年12月11日~2014年12月10日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	4,960

(注)対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

<ご参考>

普通分配金・解約時又は償還時の差益に対する課税について

2014年1月1日から2037年12月31日までの間、普通分配金、並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%(所得税及び復興特別所得税15.315%、並びに住民税5%)の税率による源泉徴収が行われます。(法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。)

- ・MSCIジャパン・インデックス、MSCIヨーロッパ・インデックス、MSCIパシフィック・エクスジャパン・インデックス、MSCIエマージング・マーケット・インデックス、MSCIオールカントリー・ワールド・インデックスに関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。
- ・バークレイズ・グローバル・アグリゲート・U.S.・ガバメント・フロート・アジャスト・ボンド・インデックス、バークレイズ・グローバル・アグリゲート・ユーロ・ガバメント・フロート・アジャスト・ボンド・インデックス、バークレイズ・グローバル・アグリゲート・ジャパン・ガバメント・フロート・アジャスト・ボンド・インデックス、バークレイズ・グローバル国債：G7インデックスに関する知的財産権およびその他の一切の権利はバークレイズに帰属します。
- ・S&P500は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス(S&P DJI)の商品です。この指数に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は、S&P DJI に帰属します。
S&P DJI は当指数等の情報に関し、その正確性・妥当性・完全性あるいは入手可能性を保証しません。また、S&P DJI は当指数等の情報の誤り、欠落についてその理由のいかんにかかわらず責任を負いません。また当指数等の使用による結果に対しても責任を負うものではありません。S&P DJI は当指数等の商品性あるいはその使用または特定の目的に対する適合性を含みますが、それに限定されるわけではなく、一切の明示的あるいは黙示的な保証を否認します。S&P DJI はファンドの受益者や他の人物等による当指数等の使用に関連したいかなる間接的、直接的な、特別なあるいは派生的な損害、費用、訴訟費用あるいは損失(収入の損失、利益の損失、機会費用を含む)について一切の責任を負いません。

「Vanguard」(日本語での「バンガード」を含む)及び「tall ship logo」商標は、The Vanguard Group, Inc. が有し、セゾン投信株式会社及び承認された販売会社のみ使用許諾されたものです。

また「セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド」は、The Vanguard Group, Inc. 及びVanguard Investments Japan Ltd. より提供、保証又は販売されるものではなく、また投資に関する助言を受けていることを表すものでもありません。

従って、The Vanguard Group, Inc. 及びVanguard Investments Japan Ltd. は当ファンド・オブ・ファンズの発行又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

お知らせ

当期中の約款変更について

2013年12月11日から2014年12月10日までの期間に実施した約款変更は以下の通りです。

- 2014年12月1日の投資信託及び投資法人に関する法律の改正に伴い、運用報告書の電磁的方法による交付を新設することとなったため、2014年12月1日付けにて投資信託約款に所要の変更を行いました。

1 万口当たりの費用明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	(2013年12月11日~2014年12月10日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	60円	0.503%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は11,890円です。
(投信会社)	(33)	(0.276)	・委託した資金の運用の対価 ・交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 ・運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(販売会社)	(22)	(0.184)	
(受託会社)	(5)	(0.043)	
(b) その他費用	0	0.002	(b) その他費用＝ $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(監査費用)	(0)	(0.001)	・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ・その他は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資金の移転等に要する費用
(その他)	(0)	(0.000)	
合 計	60	0.505	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

但し、期中の平均基準価額は日々の基準価額の平均、信託報酬率は報酬実額の累計を日々の純資産総額の平均で除したものです。また期中の平均受益権口数は日々の受益権口数の平均です。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(注3) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについてはく組入投資対象ファンドの内容>に表示することとしております。

(注4) 財産維持手数料は当期は発生していません。

(注5) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

(注6) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに少数点以下第4位を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

期中の売買及び取引の状況 (2013年12月11日から2014年12月10日まで)

投資証券

		買 付		売 付		
		口 数	金 額	口 数	金 額	
外 国	ア イ ル ラ ン ド		千口	千円	千口	千円
		バンガード・ジャパン・ストック・インデックス・ファンド	17	305,678	4	81,743
		バンガード・ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	93	1,411,505	27	403,151
			千口	千米ドル	千口	千米ドル
		バンガード・U.S.500ストック・インデックス・ファンド	932	18,360	403	7,620
		バンガード・U.S.・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	150	25,695	30	5,142
		バンガード・パシフィック・エクスジャパン・ストック・インデックス・ファンド	8	1,946	4	853
		バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド	36	5,955	14	2,258
			千口	千ユーロ	千口	千ユーロ
		バンガード・ヨーロッパ・ストック・インデックス・ファンド	523	8,096	328	5,056
バンガード・ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	97	18,297	20	3,711		

(注1)金額は受渡し代金です。

(注2)千単位未満は切捨てて表示しております。

利害関係人との取引状況等 (2013年12月11日から2014年12月10日まで)

当期における利害関係人との取引はありません。

(注)利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人は該当ありません。

第二種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況 (2013年12月11日から2014年12月10日まで)

該当事項はありません。

自社による当ファンドの設定・解約状況 (2013年12月11日から2014年12月10日まで)

該当事項はありません。

組入資産の明細

ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建てファンドの明細 (2014年12月10日現在)

ファンド名	当 期 末				
	単位数 又は口数	評 価 額		比 率	
		外貨建金額	邦貨換算金額		
株式ファンド					
バンガード・ジャパン・ストック・インデックス・ファンド	千口 171	千円 3,520,415	千円 3,520,415	% 3.9	
バンガード・U.S.500 ストック・インデックス・ファンド	千口 9,352	千米ドル 203,232	千円 24,278,131	% 26.7	
バンガード・パシフィック・エクスジャパン・ストック・ファンド	83	17,270	2,063,114	2.3	
バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド	262	41,833	4,997,473	5.5	
バンガード・ヨーロッパ・ストック・インデックス・ファンド	千口 4,418	千ユーロ 72,639	千円 10,742,709	% 11.8	
小 計	口 数 ・ 金 額	14,287	-	45,601,844	50.2
	銘 柄 数	5	-	-	
債券ファンド					
バンガード・ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	千口 479	千円 7,358,716	千円 7,358,716	% 8.1	
バンガード・U.S.・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	千口 951	千米ドル 165,134	千円 19,726,943	% 21.7	
バンガード・ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド	千口 598	千ユーロ 119,491	千円 17,671,564	% 19.4	
小 計	口 数 ・ 金 額	2,030	-	44,757,225	49.2
	銘 柄 数	3	-	-	
合 計	口 数 ・ 金 額	16,317	-	90,359,069	99.4
	銘 柄 数	8	-	-	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 千単位未満は切捨てて表示しております。

(注3) 比率は、純資産総額に対する各通貨の投資証券評価額の比率です。

(注4) 比率は小数点第2位を四捨五入しています。

(注5) ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建てファンドの明細には外国で投資されている円建て資産を含みます。

投資信託財産の構成

(2014年12月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 証 券	千円 90,359,069	% 99.1
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	778,348	0.9
投 資 信 託 財 産 総 額	91,137,417	100.0

(注1)評価額の千円未満は切捨てて表示しております。比率は小数点第2位を四捨五入しています。

(注2)当期末における外貨建資産(90,359,069千円)の投資信託財産総額(91,137,417千円)に対する比率は99.1%です。外貨建資産には外国で投資されている円建資産を含みます。

(注3)外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。当期末における邦貨換算レートは1米ドル=119.46円、1ユーロ=147.89円です。

資産、負債、元本及び基準価額の状況

当期末 2014年12月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	91,137,417,925円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	778,348,334
投 資 証 券 (評 価 額)	90,359,069,591
(B) 負 債	250,268,925
未 払 解 約 金	47,224,083
未 払 信 託 報 酬	202,503,528
そ の 他 未 払 費 用	541,314
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	90,887,149,000
元 本	67,020,045,980
次 期 繰 越 損 益 金	23,867,103,020
(D) 受 益 権 総 口 数	67,020,045,980口
1万口当たり基準価額 (C/D)	13,561円

<注記事項：当運用報告書作成時点では監査未了です。>

期首元本	60,383,415,134円
期中追加設定元本額	14,763,236,054円
期中一部解約元本額	8,126,605,208円
1口当たり純資産額	1.3561円

損益の状況

当期 自2013年12月11日 至2014年12月10日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	39,820,596円
受 取 利 息	170,502
そ の 他 収 益 金	39,650,094
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	14,392,373,821
売 買 損 益	14,692,349,112
売 買 損 益	△ 299,975,291
(C) 信 託 報 酬 等	△ 376,514,597
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	14,055,679,820
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	14,914,767,811
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 5,103,344,611
(配 当 等 相 当 額)	4,274,166,344
(売 買 損 益 相 当 額)	△ 9,377,510,955
(G) 合 計 (D + E + F)	23,867,103,020
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	23,867,103,020
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 5,103,344,611
(配 当 等 相 当 額)	4,274,166,344
(売 買 損 益 相 当 額)	△ 9,377,510,955
分 配 準 備 積 立 金	28,970,447,631
繰 越 損 益 金	0

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<組入投資対象ファンドの内容>

以下は当ファンドが投資対象としているバンガード社のファンドの現況です。貸借対照表の資産の部に計上された投資証券はこれら外国投資証券です。

現時点で入手できる直近の情報として2014年9月30日現在の内容を記載しており、入手可能な情報を委託会社にて翻訳、抜粋したものです。

- ・投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の評価金額の比率をいいます。
- ・株式の業種は世界産業分類基準による分類です。
- ・債券の格付情報はムーディーズ、S&P、フィッチ社の格付けを記載しています。
- ・単位未満は四捨五入しています。

1. バンガード・U.S.500ストック・インデックス・ファンド**■組入上位10銘柄**

	銘柄名称	業種	投資比率(%)
1	APPLE INC	情報技術	3.41
2	EXXON MOBIL CORP	エネルギー	2.27
3	MICROSOFT CORP	情報技術	2.16
4	JOHNSON & JOHNSON	ヘルスケア	1.70
5	GENERAL ELECTRIC CO.	資本財・サービス	1.46
6	WELLS FARGO & CO	金融	1.39
7	BERKSHIRE HATHAWAY INC	金融	1.34
8	PROCTER & GAMBLE CO	生活必需品	1.28
9	JPMORGAN CHASE & CO	金融	1.28
10	CHEVRON CORP	エネルギー	1.28
組入銘柄数		510銘柄	

■業種別構成比率

資産の種類	業種	構成比率(%)	S&P500 インデックス ベンチマーク構成比(%)
株式	情報技術	19.7	19.7
	金融	16.3	16.3
	ヘルスケア	13.9	13.9
	一般消費財・サービス	11.7	11.7
	資本財・サービス	10.3	10.3
	エネルギー	9.7	9.7
	生活必需品	9.5	9.5
	素材	3.5	3.5
	公益事業	3.0	3.0
	電気通信サービス	2.4	2.4

■費用明細

ファンド財産維持手数料率		運用管理費率 (年率)(%)
購入時	解約時	
なし	なし	0.25

2. バンガード・ヨーロピアン・ストック・インデックス・ファンド

■組入上位10銘柄

	銘柄名称	国/地域	業種	投資比率(%)
1	NESTLE SA	スイス	生活必需品	2.75
2	NOVARTIS AG	スイス	ヘルスケア	2.52
3	ROCHE HLDG AG	スイス	ヘルスケア	2.41
4	HSBC HLDGS	イギリス	金融	2.27
5	ROYAL DUTCH SHELL	オランダ	エネルギー	1.74
6	TOTAL SA	フランス	エネルギー	1.61
7	BP	イギリス	エネルギー	1.57
8	SANOFI	フランス	ヘルスケア	1.56
9	BANCO SANTANDER SA	スペイン	金融	1.35
10	BAYER AG	ドイツ	ヘルスケア	1.34
組入銘柄数			443銘柄	

■国・地域別構成比率

資産の種類	国/地域	構成比率(%)	MSCI Europe ベンチマーク構成比(%)
株式	イギリス	32.1	32.1
	フランス	14.9	14.9
	スイス	13.9	13.8
	ドイツ	13.2	13.2
	スペイン	5.4	5.5
	スウェーデン	4.6	4.6
	オランダ	4.1	4.1
	イタリア	3.8	3.8
	デンマーク	2.4	2.4
	ベルギー	1.9	1.9
	フィンランド	1.3	1.3
	ノルウェー	1.3	1.3
	アイルランド	0.5	0.5
	オーストリア	0.3	0.3
ポルトガル	0.3	0.3	

■業種別構成比率

資産の種類	業種	構成比率(%)	MSCI Europe ベンチマーク構成比(%)
株式	金融	22.8	22.8
	ヘルスケア	13.8	13.8
	生活必需品	13.2	13.2
	資本財・サービス	10.9	10.9
	一般消費財・サービス	9.7	9.7
	エネルギー	9.3	9.3
	素材	7.6	7.6
	電気通信サービス	5.0	5.0
	公益事業	4.4	4.4
	情報技術	3.3	3.3

■費用明細

ファンド財産維持手数料率		運用管理費率 (年率)(%)
購入時	解約時	
なし	なし	0.35

3. バンガード・ジャパン・ストック・インデックス・ファンド

■組入上位10銘柄

	銘柄名称	業種	投資比率(%)
1	トヨタ自動車	一般消費財・サービス	6.04
2	三菱UFJフィナンシャルグループ	金融	2.69
3	ソフトバンク	電気通信サービス	2.49
4	ホンダ	一般消費財・サービス	2.09
5	三井住友フィナンシャルグループ	金融	1.93
6	みずほフィナンシャルグループ	金融	1.54
7	日立	情報技術	1.37
8	キャノン	情報技術	1.36
9	日本たばこ	生活必需品	1.33
10	KDDI	電機通信サービス	1.31
組入銘柄数		312銘柄	

■業種別構成比率

資産の種類	業種	構成比率(%)	MSCI ジャパン・インデックス ベンチマーク構成比(%)
株式	一般消費財・サービス	21.7	21.7
	資本財・サービス	19.9	19.9
	金融	19.1	19.1
	情報技術	11.3	11.3
	生活必需品	6.6	6.6
	ヘルスケア	6.3	6.3
	素材	6.0	6.0
	電気通信サービス	5.6	5.6
	公益事業	2.4	2.4
	エネルギー	1.1	1.1

■費用明細

ファンド財産維持手数料率		運用管理費率 (年率)(%)
購入時	解約時	
なし	なし	0.30

4. バンガード・パシフィック・エクスジャパン・ストック・インデックス・ファンド

■組入上位10銘柄

	銘柄名称	国/地域	業種	投資比率(%)
1	COMMONWEALTH BANK OF AUSTRALIA	オーストラリア	金融	7.01
2	BHP BILLITON LIMITED	オーストラリア	素材	6.08
3	WESTPAC BANKING CORP	オーストラリア	金融	5.58
4	AUSTRALIA & NEW ZEALAND BANKING GROUP	オーストラリア	金融	4.74
5	NATIONAL AUSTRARIA BANK LTD	オーストラリア	金融	4.28
6	AIA GROUP LTD	香港	金融	3.98
7	WESFARMERS LTD	オーストラリア	生活必需品	2.77
8	WOOLWORTHS LIMITED	オーストラリア	生活必需品	2.46
9	CSL	オーストラリア	ヘルスケア	2.00
10	WOODSIDE PETROLEUM NPV	オーストラリア	エネルギー	1.68
組入銘柄数		146銘柄		

■国・地域別構成比率

資産の種類	国/地域	構成比率(%)	MSCI パシフィック エクスジャパン ベンチマーク構成比(%)
株式	オーストラリア	62.3	62.3
	香港	24.2	24.2
	シンガポール	12.4	12.4
	ニュージーランド	1.1	1.1

■費用明細

ファンド財産維持手数料率		運用管理費率 (年率)(%)
購入時	解約時	
なし	なし	0.23

■業種別構成比率

資産の種類	業種	構成比率(%)	MSCI パシフィック エクスジャパン ベンチマーク構成比(%)
株式	金融	53.5	53.5
	素材	11.0	11.0
	資本財・サービス	8.7	8.7
	生活必需品	6.2	6.3
	一般消費財・サービス	5.4	5.4
	エネルギー	4.0	4.0
	公益事業	3.8	3.8
	電気通信サービス	3.7	3.7
	ヘルスケア	3.1	3.1
	情報技術	0.6	0.6

5. バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド

■組入上位10銘柄

	銘柄名称	国/地域	業種	投資比率(%)
1	SAMSUNG ELECTRONICS CO	韓国	情報技術	3.12
2	TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFACTURING	台湾	情報技術	2.45
3	TENCENT HLDGS LTD	中国	情報技術	1.92
4	CHINA MOBILE LTD	中国	電気通信サービス	1.77
5	CHINA CONSTRUCTION BANK CORP	中国	金融	1.28
6	INDUSTRIAL & COMMERCIAL BK OF CHINA	中国	金融	1.16
7	NASPERS LTD	南アフリカ	一般消費財・サービス	1.10
8	AMERICA MOVIL SAB DE CV	メキシコ	電気通信サービス	1.08
9	GAZPROM OAO	ロシア	エネルギー	1.04
10	HON HAI PRECISION INDUSTRY CO LTD	台湾	情報技術	1.00
	組入銘柄数		837銘柄	

■国・地域別構成比率

資産の種類	国/地域	構成比率(%)	MSCI エマージング マーケット・インデックス ベンチマーク構成比(%)
株式	中国	19.2	19.2
	韓国	15.0	15.0
	台湾	12.0	12.0
	ブラジル	10.3	10.3
	南アフリカ	7.4	7.4
	インド	7.1	7.1
	メキシコ	5.4	5.4
	ロシア	4.6	4.6
	マレーシア	4.0	3.9
	インドネシア	2.7	2.7

■業種別構成比率

資産の種類	業種	構成比率(%)	MSCI エマージング マーケット・インデックス ベンチマーク構成比(%)
株式	金融	27.5	27.5
	情報技術	16.7	16.7
	エネルギー	10.2	10.2
	一般消費財・サービス	9.0	9.0
	生活必需品	8.3	8.3
	素材	8.3	8.3
	電気通信サービス	7.7	7.7
	資本財・サービス	6.6	6.6
	公益事業	3.6	3.6
	ヘルスケア	2.1	2.1

■費用明細

ファンド財産維持手数料率		運用管理費率 (年率)(%)
購入時	解約時	
なし	なし	0.40

6. バンガード・U.S.ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド

■組入上位10銘柄

	銘柄名称	証券種別	利率(%)	償還年月日	投資比率(%)
1	US TREASURY N/B	国債証券	0.3750	2016/1/15	1.74
2	US TREASURY N/B	国債証券	1.5000	2019/5/31	1.45
3	US TREASURY N/B	国債証券	0.7500	2017/1/15	1.37
4	US TREASURY N/B	国債証券	2.7500	2024/2/15	1.22
5	US TREASURY N/B	国債証券	0.8750	2017/5/15	1.15
6	US TREASURY N/B	国債証券	2.1250	2021/1/31	1.13
7	US TREASURY N/B	国債証券	2.7500	2023/11/15	1.04
8	US TREASURY N/B	国債証券	1.3750	2018/9/30	0.96
9	US TREASURY N/B	国債証券	1.5000	2018/12/31	0.96
10	US TREASURY N/B	国債証券	2.7500	2016/11/30	0.91
組入銘柄数			341銘柄		

■残存期間別構成比率

期 間	構成比率(%)
5年未満	65.2
5年以上10年以下	22.5
10年超	12.3

■格付別構成比率

格 付	構成比率(%)
AAA	100.1
AA	0.1
NR	△0.2

■費用明細

ファンド財産維持手数料率		運用管理費率 (年率)(%)
購入時	解約時	
なし	なし	0.25

7. バンガード・ユーロ・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド

■組入上位10銘柄

	銘柄名称	国/地域	証券種別	利率(%)	償還年月日	投資比率(%)
1	FEDERAL REPUBLIC GERMANY	ドイツ	国債証券	3.7500	2017/1/4	0.83
2	GOVT OF FRANCE	フランス	国債証券	3.2500	2021/10/25	0.81
3	GOVT OF FRANCE	フランス	国債証券	3.7500	2017/4/25	0.76
4	REPUBLIC OF ITALY	イタリア	国債証券	4.7500	2021/9/1	0.72
5	GOVT OF FRANCE	フランス	国債証券	2.5000	2020/10/25	0.71
6	REPUBLIC OF ITALY	イタリア	国債証券	5.2500	2017/8/1	0.69
7	GOVT OF FRANCE	フランス	国債証券	3.0000	2022/4/25	0.68
8	GOVT OF FRANCE	フランス	国債証券	3.7500	2019/10/25	0.67
9	GOVT OF FRANCE	フランス	国債証券	3.7500	2021/4/25	0.67
10	FEDERAL REPUBLIC GERMANY	ドイツ	国債証券	4.7500	2034/7/4	0.66
組入銘柄数			625銘柄			

■残存期間別構成比率

期間	構成比率(%)
5年未満	41.9
5年以上10年以下	33.9
10年超	24.2

■格付別構成比率

格付	構成比率(%)
AAA	29.6
AA	33.4
A	3.1
BBB	33.8
NR	0.1

■費用明細

ファンド財産維持手数料率		運用管理費率 (年率)(%)
購入時	解約時	
なし	なし	0.25

8. バンガード・ジャパン・ガバメント・ボンド・インデックス・ファンド

■組入上位10銘柄

	銘柄名称	証券種別	利率(%)	償還年月日	投資比率(%)
1	第117回利付国債(5年)	国債証券	0.2000	2019/3/20	1.82
2	第285回利付国債(10年)	国債証券	1.7000	2017/3/20	1.81
3	第335回利付国債(2年)	国債証券	0.1000	2015/12/15	1.57
4	第296回利付国債(10年)	国債証券	1.5000	2018/9/20	1.56
5	第339回利付国債(2年)	国債証券	0.1000	2016/4/15	1.43
6	第336回利付国債(2年)	国債証券	0.1000	2016/1/15	1.16
7	第102回利付国債(5年)	国債証券	0.3000	2016/12/20	1.15
8	第284回利付国債(10年)	国債証券	1.7000	2016/12/20	1.10
9	第325回利付国債(10年)	国債証券	0.8000	2022/9/20	1.02
10	第312回利付国債(10年)	国債証券	1.2000	2020/12/20	1.02
組入銘柄数		327銘柄			

■残存期間別構成比率

期 間	構成比率(%)
5年未満	40.3
5年以上10年以下	25.1
10年超	34.6

■格付別構成比率

格 付	構成比率(%)
AA	94.3
A	1.1
NR	4.6

■費用明細

ファンド財産維持手数料率		運用管理費率 (年率)(%)
購入時	解約時	
なし	なし	0.25

- (注1)費用明細に記載されている運用管理費率とは、平均純資産総額に対する運用及び管理等にかかる費用の総額の割合を示したものです。
- (注2)組入上位10銘柄の投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の評価金額の比率をいいます。
- (注3)組入上位10銘柄の投資比率は、未収収益または経過利子を含むため、上位10銘柄の順位とは必ずしも一致しません。
- (注4)構成比率は純資産総額に対する割合です。

TOPICS：《当社の直接販売の状況 2013年12月11日～2014年12月10日》

当期間を振り返ると、有効口座数・運用資産総額が順調に伸びた、明るい1年になりました。

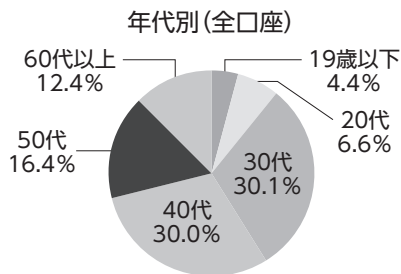
2014年 7月	セゾン投信 有効口座数 7万口座を突破
11月	セゾン投信 運用資産総額 1,000億円を突破

2014年12月10日現在 有効口座数 76,683件(前期比21.4%増)

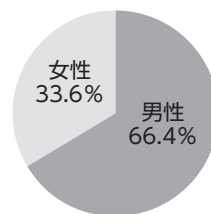
当期間の口座増加数は+13,536名と6年ぶりに1万名を超え、前期から勢いが増していた新しいお客様の口座開設が更に活況となりました。うち「知人・家族からの紹介」を申込みの動機とする口座開設が約2割あり、大きな特長になっています。

お客様の特徴(全口座)

年代別では「資産形成層」の30代～40代が60.1%と大きな割合を占めています。また、当期間の女性のお客様の増加率が男性を上回ったため、女性比率が前期から1.5%増加しました。



性別(全口座)



ファンドの設定・解約の状況

2013年は12月末の証券税制の優遇措置終了が影響し、利益確定の解約が増加しましたが、2014年になってからは毎月、設定額が解約額を上回る流入超が続き、当期間の純流入額は+122.1億円となりました。

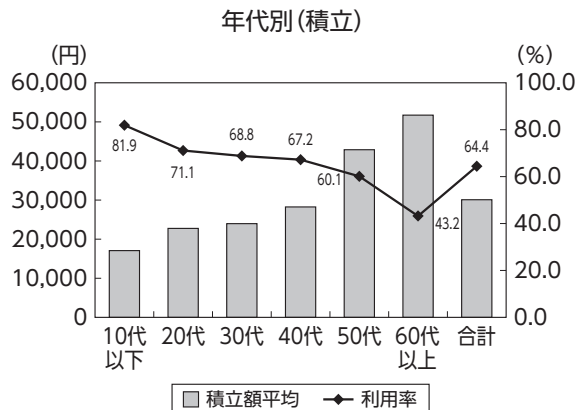
※金額については、当社が運用、販売するファンド2種類を合計した数値となります。

定期積立プラン

口座開設の際に定期積立サービスを同時に申し込まれる方が多いことから、当サービスの利用率は前期から2.7%増え64.4%となりました。すでにお申込みいただいているお客様の多くがサービスを継続して活用されていることも、利用率の増加を下支えしています。

※このグラフは、当社が運用、販売するファンド2種類のいずれか、もしくは両ファンド定期積立サービスをご利用いただいている方を対象とするデータを用いて作成しております。

※全顧客に対する2014年12月4日引落日の定期積立プランの利用率。積立額は増額月の増額分を含まない平均値。



当社に口座を開設いただいている皆様には改めてこの場をお借りして感謝を申し上げますとともに、長期での資産形成に向けた皆様の期待に応え、共に成長を続けられる会社であるために一つ一つのこだわりを大切に引き続き努力してまいります。